



山下 光一氏

20年前、子どもが犠牲になる事件が多発したとき、子どもたちを守りたいとの思いから、立川警察署に防犯パトロールの件で何度も足を運ぶ。個人の活動事例がなく難航するが、やっとのことで許可が下り、団体ではなく自家用車に青色回転灯を設置しての自主防犯活動を全国で初めて始めました。仕事と防犯活動に力を尽くして思うことは、少しの心掛けが防犯に繋がること、皆様の防犯意識に繋がれば幸いです。

## “見守る力、自分を守る力” 少しの心掛けが防犯に繋がる

自主防犯活動をはじめられたきっかけを教えてください

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災をきっかけに同年7月に発足された「東京消防庁災害時支援ボランティア」に初期の頃から登録し、27年間、国立市の防災訓練に携わってきました。

そして、20年前のこと、奈良県で起きた女児誘拐殺人事件をはじめ他県でも子どもたちが犠牲になる事件が多数あり、子どもたちを守りたい!と思ったとき、新聞で※青色防犯パトロール(以下、青パト)の記事が目に入りました。私も活動ができればと思います、立川警察署に申請しましたが、これまで青パトを個人で活動している前例がなかったため、なかなか受け付けてもらえず、何度も足を運んだ結果、当時の担当の方々に熱意を受け取ってもらえ、警視総監の許可を受けて始めました。個人での青パト・自主防犯パトロールは全国ではじめての許可でNHKでも報道されました。

ご自身が行ってきた主な活動について教えてください

通学路でのパトロール、通行規制の道路で許可を受けていない車への声掛け等を行っています。車には護身用のため「さすまた」を搭載して活動していました。また、当時の市立国立第六小学校

の校長先生と連絡を取り、学校周辺のパトロール及び青柳、石田、泉地区を会社の行き帰り等で巡回していました。高齢となり、リタイアしましたが、仕事と防犯活動に全力を尽くしてきました。

活動してきた中で意識していた事および国立市や国立市民の防犯意識について教えてください

個人等で青パトを行うことは、少しハードルが高いように感じるかもしれませんが、使命感を持って活動してきました。青パトは広く市民の目に触れる防犯活動の一つであると思います。

現在は市内各地で自転車等でのパトロール、通学路の横断歩道で誘導等を行っている方を多く見かけます。大変なこともあるかと思いますが、これからも意識を持って続けていただければと思います。

家庭での防犯について教えてください

我が家も詐欺グループの電話と思われる電話が掛かってくる場合があります。ナンバーディスプレイと録音機能を活用して撃退しています。しかし、相手は電話番号を変えて、同じ手法を使って掛けてきます。以前、固定電話と携帯電話に掛かってきた時のこと、「声が同じに聞こえるが・・・」と伝えると、相手が慌てて電話を切り、その後は掛かってき

ていません。こういった、少しの防犯意識が、詐欺等から自分たちを守ることにつながるかもしれません。

皆様も既に注意いただいていることかと思いますが、知らない人は家に絶対に入れない、はっきり断る等、犯罪に合わない様にご注意ください。

最後に一言お願いします

防犯への意識はほんの少しの心掛けで、自分も周りの方も守ることができます。そのためには正しい知識を学び、落ち着いて行動することが大切です。安心・安全なまちであることを願っています。

※青色防犯パトロールとは、青色回転灯を装備した自動車地域を巡回し、自主防犯を行う活動です。

◀護身用の「さすまた」を持った山下氏  
自家用車に青色回転灯を付けて  
パトロールをしていました

